

より快適に よりスムーズに

一般国道28号

洲本バイパス



洲本バイパス 宇山～炬口間完成イメージ

洲本温泉(足湯)

洲本城跡

洲本バイパス 炬口～宇山間完成イメージ

SUMOTO BYPASS

淡路の豊かな風土と未来をつむぐ道

概要

洲本バイパスは、洲本市街地の交通混雑緩和および交通安全の確保を図るとともに、神戸淡路鳴門自動車道の洲本ICと洲本市街地を結ぶ重要なアクセス道路として計画された、延長6.0kmのバイパスです。平成10年5月に納地区～大野間(L=0.7km)、同12年4月には大野～宇山間(L=2.9km)の供用を開始しました。現在は、残る宇山～炬口間(L=2.4km)の供用をめざして整備を進めています。

計画諸元

区間	洲本市 <small>たけのくち おさめ</small> 炬口～納
延長	6.0km
規格	第3種2級
車線数・幅員	2車線(3.5m×2)
設計速度	60km/h
最急縦断勾配	5.4%
最小曲線半径	150m

主要構造物(名称は仮称)

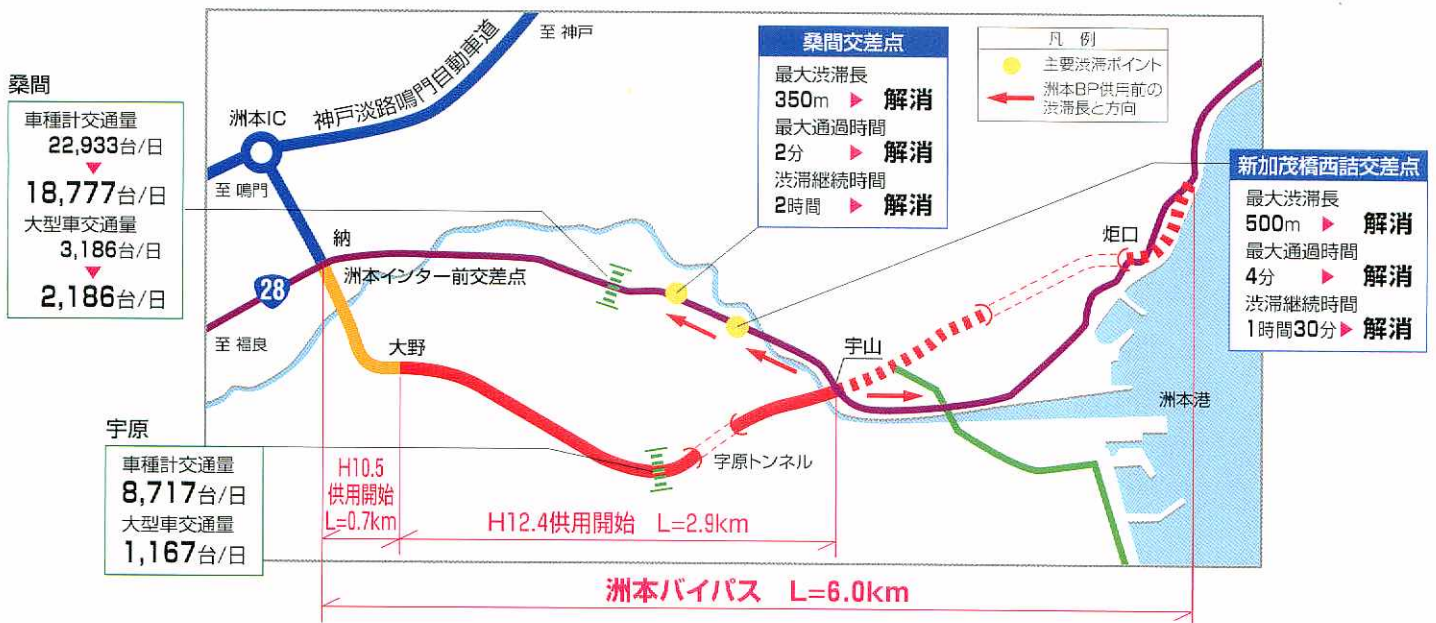
トンネル	(炬口トンネル)(L=945m)
	宇原トンネル(L=284m)
橋梁	青雲橋(L=144m)
	下田橋(L=37m)
	川添橋(L=27m)
	(陀仏川橋)(L=37m)

事業の経緯

昭和48～52年	調査
昭和54年12月	ルート承認
昭和57年6月	都市計画決定
昭和60年	事業化
昭和63年	用地着手
平成元年	工事着手
平成10年5月	一部供用開始(L=0.7km)
平成12年4月	一部供用開始(L=2.9km)

洲本バイパスの整備効果

国道28号現道の交通混雑を緩和し、交通安全の確保に寄与します



交差点における渋滞の解消

洲本ICおよび国道28号福良方面から洲本市街方面の通過交通の多くが洲本バイパスに転換され、朝夕の各交差点における渋滞が解消されました。

沿道環境の改善

市街地を通過する交通量がバイパスにより分散され、渋滞解消による排気ガスの低減および通過交通の減少が沿道環境の改善につながります。

地域開発の支援

洲本市内の豊かな観光施設や産業施設へのアクセスを強化し、地域の活性化を支援します。

洲本インター前交差点における交通の変化

